

第4学年・国語科 情報活用能力育成の学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 池永 昌堅

1 日 時 令和5年10月19日(木) 第5校時(13:25~14:10)

2 学年・組 第4学年1組(25名)

3 単元名 伝統工芸のよさを伝えよう

4 単元の目標

- ◎事典の使い方を理解し使うことができるようにする。(知・技(2)イ)
- ◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができるようにする。
(思・判・表B(1)ウ)
- ◎目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるようにする。(思・判・表C(1)ウ)
- 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができるようにする。
(知・技(3)オ)
- 進んで中心となる語や文を見付けて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫したりしようとし、学習の見通しをもって、調べて分かったことなどをまとめて書こうとすることができるようにする。

5 単元の評価基準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
① 事典の使い方を理解し使っている。(2)イ ② 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3)オ	① 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ② 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(C(1)ウ)	① 進んで中心となる語や文を見付けて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫したりしようとし、学習の見通しをもって、調べて分かったことなどをまとめて書こうとしている。

6 指導計画

指導計画例【指導のポイント ㊦手立て !配慮事項 他他教科との関連 ㊧個別支援】

時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	指導のポイント	評価観点
1 出会う	○学習の見通しをもつ。 ◆筆者の考えをとらえたり、調べたことを書いたりするとき、どのようなことに気を付けましたか。 ・「アップとルーズで伝える」では、段落どうしの関係に気を付けて読んだ。 ・「新聞を作ろう」では、伝えたいことの中心を明らかにして書いた。 [学習課題] 中心となる語や文を見付けて要約し、調べたことを書こう。	㊦P4「三年生の国語の学びを見わたそう」を参照する。	態①

追究・表現する	2	<p>○筆者の伝えたいことは何かを考えながら読み、文章の構成を捉える。</p> <p>◆筆者の考えが書かれている段落を見つけて、全体を「はじめ」「中」「終わり」に分けよう。</p> <p>・「このように」や「～とわたしは考えています。」と書かれているので、第10段落には筆者の考えが書かれている。</p>	<p>②「このように」「考えています。」といった言葉を手がかりにして筆者の考えが書かれている段落を見付けられるようにする。</p>	思②
	3	<p>○筆者の考えの理由を探して読む。</p> <p>◆筆者は、考えの理由となることを二つ挙げています。それぞれの理由が説明されている段落を考えて「中」を二つのまとまりに分けましょう。</p> <p>・筆者の考えの中で使っている言葉に着目すると、二つのまとまりに分けられそうだね。</p>	<p>[ICT] デジタル教科書等を活用し、傍線を引いたり線で囲んだりした重要な語句や文をタブレットや電子黒板等に示して理由や考えを共有することもできる。</p>	思②
	4	<p>○筆者が「中」で挙げている事例についてまとめる。</p> <p>◆筆者は、何を説明するために、どのような例を挙げているのでしょうか。</p> <p>・和紙は破れにくく、長持ちすることを説明するために、正倉院に残っている和紙の例を挙げている。</p>	<p>㊦「何を説明するためか」と「例」について表に整理し、筆者の考えとそれを支える理由や事例との関係が明確になるようにする。</p>	思②
	5	<p>○中心となる語や文を使って、200字以内で要約する。</p> <p>◆まとまりごとに中心となる語や文を確かめ、それを使って要約しましょう。</p> <p>・「はじめ」には、「より多くの人に和紙のよさを知ってもらい、使ってほしい」という筆者の考えが書かれているので、この部分は入れよう。</p>	<p>㊦P51「たいせつ」や上巻P86「要約するとき」を参照し、要約のポイントを確かめられるようにする。</p>	思②
	6	<p>○伝統工芸のよさについて伝えるために、百科事典の使い方について知る。</p> <p>◆百科事典での調べ方について知り、調べてみましょう。</p> <p>・「つめ」や「はしら」を使って「見出し語」を探すのだね。</p> <p>・自分が調べた伝統工芸について、調べてみよう。</p>	<p>㊦P52「百科事典での調べ方」を参照し、意味が分からない言葉があっても、自分の力で調べられるようにする。</p>	知①
	7	<p>○調べたい伝統工芸について百科事典で調べたり本を探して読んだりし、伝統工芸のよさが書かれている部分を中心に要約する。</p> <p>◆伝統工芸のよさが書かれている部分から中心となる語や文を探して、内容を要約しよう。</p> <p>・「ジャカード織という技術で複雑なもようをつくることができる。」というのは、西陣織のよさだから要約するときに使おう。</p>	<p>㊦要約してみて困ったことについても共有し、どのように改善するか具体的に考えられるようにする。</p>	知① 思②
	8	<p>○要約した文章を読み合い、要約の仕方や伝統工芸のよさについて感じたことを伝え合う。</p> <p>◆友達の要約の仕方や伝統工芸のよさについて感じたことを伝え合おう。</p> <p>・〇〇さんは、西陣織のよさを入れて要約していたので、私も調べてみたくなった。</p> <p>・伝統工芸は、今の時代に合わせて進化しているので、みんなに親しまれているのだね。</p>	<p>㊦「要約のしかた」「内容」の二つの視点で伝え合うことで、伝統工芸により興味をもち、リーフレット作りに生かすことができるようにする。</p>	態①
	9	<p>○リーフレットを作る見通しをもち、調べたいものを決める。</p> <p>◆身近な地域にはどのような伝統工芸があるのか調べ、興味をもったものを選ぼう。</p> <p>・詳しく調べて整理し、組み立てと資料の使い方を考えてリーフレットを作って読み合うのだね。</p>	<p>㊦P53「学習の進め方」P56-57の作例を参照し、見直しをもてるようにする。</p>	態①
	10	<p>○選んだ伝統工芸について詳しく調べ、分かったことを書き出す。</p>	<p>㊦ジュニア京都検定のテキストを参考にするとよい。</p>	知②
	11	<p>◆本や資料を選んで読み、分かったことを書き出そう。</p> <p>・「博多おり」は、絹織物なんだ。「絹織物」について、百科事典で調べてみよう。</p>	<p>㊦P54「目的に応じた資料の選び方」を</p>	知②

	<p>12 ○書き出したものを整理する。 ◆友達に伝えるのにふさわしい理由や例を選ぼう。</p> <p>・「着物の帯」「ゆるみにくい」「ほどこやすい」「じょうぶ」は、「使いやすさ」のところに整理できるね。「使いやすさ」は、博多織の魅力だから、リーフレットに入れよう。</p>		<p>参照し、必要な本や資料を使えるようにする。</p> <p>☞P54「よさについてまとめた例」を参照し、付箋を用いて分かったことを整理できるようにする。</p>	思①
	<p>13 ○資料の使い方を考え、文章構成表をつくり、友達と読み合う。 ◆どうすれば分かりやすく説明できるでしょうか。</p> <p>・「中」では、「使いやすさ」と「美しさ」の2つの魅力について書こう。</p> <p>・細かい幾何学模様の写真を使えば、「美しさ」がより伝わるのではないかな。</p>		<p>☞P55「組み立ての例」とP56-57の作例を結び付けて読み、自分の書く文章の組み立てや資料の使い方を考えられるようにする。</p>	思① 態①
	<p>14 ○調べたことを説明する文章を書く。 15 ◆考えた組み立てに沿って調べたことを説明する文章を書こう。</p> <p>・「はじめ」「中」「終わり」の組み立てを意識して、伝統工芸のよさが伝わるように資料を使って書こう。</p> <p>・参考にした本は、出典として文章の終わりにまとめよう。</p>		<p>☞P56-57の作例やP56「たいせつ」を参照し、理由や事例と、伝えたいこととの関係が分かるようにする。</p>	思①
	<p>16 ○表紙や裏表紙を作り、読み直してリーフレットを仕上げよう。 ◆文章を読み直し、分かりにくいところがないか確かめましょう。</p> <p>・魅力である「使いやすさ」「美しさ」に関係のない文があったから削ろう。</p>		<p>☞裏表紙には、産地や施設の情報、豆知識などから選んで書くようにする。</p>	思①
	<p>17 ○リーフレットを読み合い、文章の書き方について伝え合う。 ◆友達と読み合って、分かりやすく書けているところを伝え合おう。</p> <p>・伝えたいことに合った例を選んでいるので、西陣織の魅力である「美しさ」がよく分かる。</p>		<p>☞P56「たいせつ」を参照し、視点を決めて文章の書き方について伝え合えるようにする。</p>	態①
生かす	<p>18 ○学習を振り返る。 ◆要約するときや調べたことを書くときにどのようなことに気を付けましたか。</p> <p>・筆者の考えが書かれている部分を入れて要約した。</p> <p>・伝えたいことにぴったり合った例を挙げて書いた。</p>		<p>☞「たいせつ」「いかそう」「ふりかえろう」で身に付けた力を確認するようにする。</p> <p>他 伝統工芸に対する興味・関心を促し、その理解を図る題材(社会科・総合的な学習の時間)</p>	態①

記録に残す主な評価場面(例)

- ・思②「中心となる語や文を使って要約したノート」【5時間目】
- ・知①「百科事典の使い方を理解し使っている姿」【6時間目】
- ・思①「組み立てに沿って書いた文章」【15時間目】
- ・態①「分かりやすく説明するための文章構成表を作っている姿」【13時間目】
- ・併せて確認(ペーパー)テストを実施し、評価資料として活用する。

7 本時について（12／18時間目）

（1）本時でつきたい情報活用能力

活用スキル	書きだしたキーワードを、シンキングツールを使って整理する。	活用場面
--------------	-------------------------------	-------------

本單元では、中心となる語や文を捉えて要約するという、説明文での学習で身につけたい力をいかし、伝統工芸に関して本などで調べたことをまとめてリーフレットを作る学習を行う。単元のゴールにリーフレット作りを設定しているのので、説明文をどのように読み、そこで得た知識をどうかすか、百科事典や本などから情報をどのように得て、整理し、自分の書くものに用いていくかなど、目的をもって学習に取り組み、主体的・対話的な学習を行うことが期待できる。また、調べ学習をしながら書きだしたキーワードを、シンキングツールを使うことで分類しながら整理することで、情報を取捨選択できる力も身につけさせたい。本時で身につけた活用スキルは、これからの学習を支える情報活用能力として様々な場面で発揮していくことが期待される。

（2）目標

書きだしたキーワードを、シンキングツールを使って整理することで、相手や自分の意図に合った情報を選択できる。

（3）展開

○学習活動 ◆発問 ・児童の反応	◇支援 *留意点 ㊦個別支援
<p>○めあてを確認する。</p> <p>◆今日は調べ学習をしながら集めたキーワードを、シンキングツールを使って整理しましょう。また、どの情報をリーフレットに載せるのかを選びましょう。</p>	<p>*めあてを確認し、今日学ぶことを明確にする。</p>
<p>キーワードを整理して、リーフレットに載せる情報を決めよう</p>	
<p>○教師の見本を見て、今日の活動の見通しをもつ。</p> <p>◆先生が今日することの見本を見せるので、「この後自分もするんだ」と思いながら見ておきましょう。</p> <p>○シンキングツールを使って、自分が集めたキーワードを整理する。</p> <p>◆それでは、自分もシンキングツールを使ってキーワードを整理してみましょう。</p> <p>○リーフレットに載せる情報を取捨選択する。</p> <p>◆それでは、自分が調べた伝統工芸の魅力が十分に伝わる情報はどれでしたか。</p>	<p>◇児童が活動を進められるようにするために、教師が見本の姿を示すようにする。</p> <p>㊦机間巡視をしながら、困っている子にはまず先にジャンルを作ればよいことを伝えたり、一緒に整理したりする。</p> <p>㊦決めるのが難しい児童には、一緒に考えたり、自分が伝えたいものを選んだりすればよいことを伝える。</p>

(4) 評価

【思①】	シンキングツールを使って、書きだしたキーワードを整理することができる。 整理した情報から、伝統工芸の魅力が伝えられる情報を取捨選択している。
「おおむね満足できる」状況と判断できる「活動の様子」	
・シンキングツールを使って、キーワードを整理している。 ・自分がリーフレットに載せたい情報を取捨選択している。	

(5) 板書計画

<p>伝統工芸のよさを伝えよう</p> <p>書きだしたキーワードを、シンキングツールを使って整理しよう。</p>	<p>ロイロノート左↓シンキングツール</p> <p>↓クラゲチャート</p> <p>◎クラゲを作りましょう</p> <p>◎クラゲができれば、どのクラゲをリーフレットに使うのか決めましょう。</p> <p>【決めるときは・・・】</p> <p>伝統工芸のみ力が十分伝わるものを選びましょう。</p>
---	--

(6) ICT活用〈図1〉

大型テレビに教師の例を示し、今日の活動の見通しをもたせる。